

蒲生干潟の地形調査③⑧

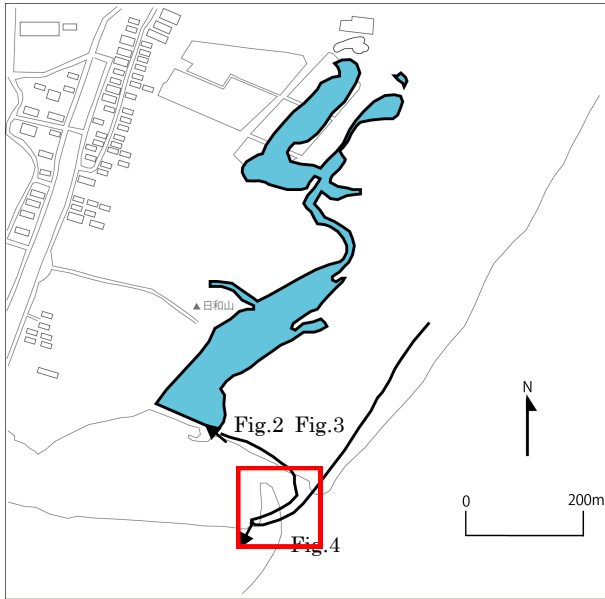


Fig.1 12月のGPS簡易測量結果



Fig.3 導流堤付近の工事の様子(東側より撮影)



Fig.2 パイプが埋め込まれた通水部分(東側より撮影)



Fig.4 右岸の防潮堤付近まで広がる左岸の砂州(北側より撮影)

調査日 2018年12月5日(水) 14:00~15:20 ※満潮時刻14:13(潮位151cm)

Fig.1はGPS簡易測量による12月の汀線である。満潮時間帯に調査を行ったにもかかわらず、潟湖の大きさは干潮時間帯に行った11月の調査結果と大きな変化はなく安定した状態であった。しかし、潟湖北側の水位が全体的に若干低くなっており最北部は独立していた。

導流堤付近の東側に作られていた水路は、Fig.2のような状態に変化しており、パイプを通して潟湖と通水が行われていた。また、導流堤付近の工事は地下深くに大きく掘り進めてながら行われていた(Fig.3)

河口付近のFig.1で□囲まれた部分では左岸の堆積が南側に大きく広がっており、右岸の防潮堤付近まで広がっていた(Fig.4)。左岸の砂州の拡大に伴い河口も南側に移動し大きく蛇行していた。